2020年度

担当者　西岡　久充

演習論文要旨

題目

ICTを活用した地域活性化によるオーバーツーリズムの改善案

学籍番号　　　氏　　名

B170113　　荻原　主基

B170495　　吉岡　侑輝

要旨

　現在京都では、特定の観光地に観光客が殺到することで観光自体の満足度低下や周辺住民の生活環境悪化を引き起こす「オーバーツーリズム」問題が深刻化している。本研究では、この問題の解決策として、観光地の周辺地域を魅力発信によって活性化させることで、観光客が過度に集中する観光地から周辺地域を含む広い範囲へと人々を分散させ、オーバーツーリズムを解消できるのではないかと考えた。この仮説の検証にあたり、「伏見稲荷大社」の周辺地域である「師団街道」を対象に、AI, SNS, WEB という３つのICTツールを活用し、地域の名物である多種多様な「ラーメン」の存在をインターネット上で発信してその地域の活性化を図り、「伏見稲荷大社」の一部の観光客を師団街道へ分散させることで、オーバーツーリズムの解消を目指した。その結果、各ICTツールは地域活性化のきっかけに一定の効果があると判明し、継続的な活性化を実現可能な三者間市場の構想が得られた。